

事務事業名		「人と自然」ふれあい交流公園整備事業		☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	01: 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目	
	施策名	02: 良好な生活空間の創造					
	基本事業名	04: 公園・緑地の整備					
所 属	根拠法令	都市公園法第2条の3		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 17 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01 08 05 04 05	
	部課名	都市整備部都市計画課					
	係 名	公園緑地係	電話 0192-27-3111 内線 323				
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 公共下水道が供用開始する地域内の公園を優先し、トイレの水洗化と障害者等でも利用しやすいようバリアフリー整備のためのトイレ改築を行う。 主な業務は、トイレの建築場所の選定と地域住民への説明、工事の設計と積算、工事発注及び契約、工事監理、完成検査と工事費の支払いである。 事業費は、トイレの工事費用として支出される。							
全体計画 (期間限定複数年度のみ)							
総投入量 (千円)				事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0		人件費	
						正規職員従事人数	
						延べ業務時間	
						人件費計 (B) 0	
						トータルコスト(A) + (B) 0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		単位	
みどり町公園のトイレ改築による水洗化とバリアフリー整備		ア	トイレの改築箇所数
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		イ	
佐倉里公園のトイレ改築による水洗化とバリアフリー整備		ウ	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
公園利用者、トイレ施設		名称	
		単位	
		カ	トイレの要改築箇所数
		キ	
		ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
公園トイレの水洗化による衛生環境面の改善とバリアフリー化により、誰でも安全で快適に利用できるようにする。		名称	
		単位	
		サ	トイレの改築整備率
		シ	苦情件数
		ス	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
公園・緑地が確保されている。			

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (目標)	22年度 (目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円	2,632	2,753	4,196	4,836		
			地方債	千 円		2,700	1,900	2,400		15,000
			その他	千 円						
			一般財源	千 円	2,633	55	198	19		
			事業費計 (A)	千 円	5,265	5,508	6,294	7,255	0	15,000
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		2	
		延べ業務時間	時 間	700	700	700	700		1,400	
		人件費計 (B)	千 円	2,800	2,800	2,800	2,800	0	5,600	
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	8,065	8,308	9,094	10,055	0	20,600	
活動指標			ア	箇所	1	1	1	1	0	2
			イ							
			ウ							
対象指標			カ	箇所	28	27	26	24	23	21
			キ							
			ク							
成果指標			サ	%	18	21	24	29	32	38
			シ	件	2	0	0	0	0	0
			ス							

事務事業ID	0636	事務事業名	「人と自然」ふれあい交流公園整備事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
トイレの施設の老朽化と公共下水道の整備に対応するため、平成17年度から事業を開始した。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
平成18年12月から「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が施行されたことに伴い、移動円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準や促進に関する基本方針が定められ、都市公園についてもトイレ等の施設整備に関する整備目標(平成22年度までに30%)が設定された。さらに、下水道法第11条の3の規定により公共下水道処理区域内では、3年以内に水洗便所に改造して公共下水道に接続しなければならないこととなっており、公共下水道整備の進捗に伴い、トイレ整備の必要箇所が増加している。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
地区及び地域公民館や公園利用者から改修要望が寄せられている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 公園施設の整備により、利用者が安全かつ快適に利用できるようになり、都市環境の改善につながる。	
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 公共の施設として市が設置し、管理運営している公園である。	
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象は、トイレが設置されている公園のうち、公共下水道の供用区域となった公園である。そのほとんどは公園開設当時に設置されたまま老朽化しており、バリアフリー化の推進上からも、規模や設備的に全面改築が必要な施設を対象としている。	
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 年次毎の事業量を拡大して整備を推進し、整備効果の早期発現を図る。	
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] トイレのバリアフリー化の整備が停滞するとともに、下水道法上の規定にも違反する。また、施設の老朽化が進行し、衛生環境上からも公園利用率の低下や周辺住宅地からの苦情の増加が予想される。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 現在実施している事業で類似の事業は無い。 ☒ 他に手段がない [理由]	
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 事業量増加による一括発注に加え、既製プレハブユニット構造等の施設を採用することで全体事業費を削減できる可能性がある。ただし、施設本体の質的な面での低下が避けられない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 設計監理業務の委託は可能であるが、技術職員の事務量や経費面からの検討が必要である。また、既製プレハブユニット構造等の施設を採用することで、設計に関わる事務量は削減できる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 公園は一般に開放されているため、受益機会は公平である。また、不特定多数の人が利用する公共施設であるため、一部の有料公園の施設使用料以外に受益者負担はない。	

事務事業ID	0636	事務事業名	「人と自然」ふれあい交流公園整備事業
--------	------	-------	--------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 要改築箇所数に対して、年次毎の整備数が不足と考えられる。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 発展計画及び予算規模上からこれまでと事業量は変わらないが、引き続き整備拡大を要望していく。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 施設の老朽化やバリアフリー化への対応のほか、地域間の整備バランスに配慮し、下水道供用計画区域外の公園についても、トイレ改築を進めていく必要があると考える。																							

	(職 名)	原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	都市計画課長	

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- ☐ 記述不足でわかりにくい
☐ 一部記述不足のところがある
☒ 記述は十分なされている

評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
☐ 一部に客観性を欠いたところがある
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

都市公園のほとんどが簡易トイレであり、経年劣化等による老朽化が甚だしい。地区及び地域公民館や公園利用者から衛生的な面からも水洗化の要望が多く、バリアフリー化も含め早期に整備を進める必要がある。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持
 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

都市公園におけるトイレの整備率は、平成20年度末で29.4%という低い状況である。これまで、下水道の供用開始と併せて整備を進めてきたところであるが、下水道区域外については、合併処理浄化槽等による水洗化で効率的に進めていく必要がある。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		●	
	維持			×
	低下		×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項